

**IGSAP OD0102:2024 Safety 2.0 適合審査登録制度 手続規則の  
2024 年 12 月 IGSAP 理事会での改定承認を受けて、  
スキル保有者を活用した審査についてのガイドライン**

**1. スキル保有者の活用した審査の目的**

- 1) スキル保有者が確認した審査資料および「付属書 B2 Safety2.0 適合審査自己宣言書」を、指定適合審査機関の審査報告書の一部として活用することで審査精度を高めること。
- 2) Safety 2.0 適合制度への理解者を増やすことで、安全性の高い労働環境を広げていくこと。

**2. スキル保有者とは**

申請されたシステムに関する豊富な知見と Safety2.0 の要求事項に関しての知識を有していると指定適合審査機関(JC)が認めた要員

**3. Safety 2.0 を自己宣言するために必要なスキル・経験**

- 1) Safety 2.0 適合審査の申請対象への深い知見
- 2) Safety 2.0 の基本原則などの理解
- 3) Safety 2.0 のリスク管理に関する要求事項の理解
  - ・機械安全(機能安全)・労働安全に関わるリスクアセスメントの経験・スキル
- 4) Safety 2.0 システム及びコンポーネントに対する要求事項の理解
  - ・申請対象と同様のシステムに関するリスク低減方策についての知見
- 5) 主に必要な ISO/IEC 規格知識
  - ・機械指令(規則)、EMC 指令、低電圧指令など
  - ・ISO12100
  - ・IEC61508(IEC62061)
  - ・ISO45001/ISO9001
- 6) その他必要な知識

**4. スキル保有者の役割・責務**

- 1) Safety 2.0 の自己宣言するための能力(スキル・経験値)を確認するJCのヒアリングを受けること。
- 2) 申請組織が提出した「付属書 B2 Safety 2.0 適合審査自己宣言書」を誠実・適正に確認することの宣誓「付属書 B1 スキル保有者の宣誓書」
- 3) 書類審査資料の作成支援および確認
- 4) オンサイト審査の計画作成
- 5) Safety 2.0 適合自己宣言書ドラフトの確認・提出
- 6) オンサイト審査の実施と議事録の作成・提出
- 7) 自己宣言書の指摘事項を反映し最終版(審査レポートに一部流用)の作成・提出